

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 12 月 30 日  
東京電力株式会社

## <タービン建屋地下のたまり水の処理>

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

### [処理設備]

・12/27 10:37 第二セシウム吸着装置を起動。10:43 定常流量に到達。

### [貯蔵設備]

・6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

## トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元 移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋、 雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・12/28 15:22 ~ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋、 雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・12/30 14:37 ~ 移送実施中
6号機	・6号機タービン建屋 仮設タンク	・12/30 移送予定なし

移送先	移送先の水位状況 (12/30 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 2,467 mm(水位上昇累計:3,684 mm) 12/29 7:00 から 55 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 3,055 mm(水位上昇累計:3,781 mm) 12/29 7:00 から 309 mm 下降

・12/30 9:42 2号機タービン建屋たまり水の水位が低下傾向になっていないことから、移送ポンプを切り替え。

## トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (12/30 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. <+ 850 mm (12/29 7:00 と同じ)	O.P.+ 2,881 mm (12/29 7:00 から 23 mm 上昇)	O.P.+ 4,247 mm (12/29 7:00 から 1 mm 上昇)
2号機	O.P.+ 3,184 mm (12/29 7:00 から 12 mm 上昇)	O.P.+ 3,161 mm (12/29 7:00 から 12 mm 上昇)	O.P.+ 3,291 mm (12/29 7:00 から 2 mm 下降)
3号機	O.P.+ 3,178 mm (12/29 7:00 から 8 mm 上昇)	O.P.+ 3,147 mm (12/29 7:00 から 43 mm 上昇)	O.P.+ 3,402 mm (12/29 7:00 から 33 mm 上昇)
4号機	-	O.P.+ 3,130 mm (12/29 7:00 から 5 mm 上昇)	O.P.+ 3,140 mm (12/29 7:00 から 7 mm 下降)

## <放射性物質のモニタリング>

### 海水核種分析結果(参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約 30m	12/29	8:35	ND	0.05	0.05
福島第一 1~4号機放水口南側約 330m	12/29	8:10	ND	0.02	0.01

・その他、福島第一原子力発電所沿岸2地点(12/29 採取分)、福島県沖合5地点(12/28 採取分)における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)は全てND。

## < 使用済燃料プールの冷却 > (12/30 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	12.5
2号機	循環冷却システム	運転中	13.6
3号機	循環冷却システム	停止中	13.0
4号機	循環冷却システム	運転中	24

冷却を一時停止した際(12/30 10:27)の温度

【3号機】・12/30 10:27～13:42 使用済燃料プール代替冷却システムの1次系循環ポンプの吸込圧力に低下傾向が見られることから、同ポンプの入口側ストレーナをフラッシングするため、当該システムを一時停止。(冷却停止時温度:約 13.0、冷却再開時温度:約 13.1)

16:54 これまでも吸込圧力が低下する傾向がしばしばあり、今後、運転を継続すると再度ストレーナ詰まりの兆候が発生する可能性があることから、現在のプール水温度が約 13 と十分低いこと、また、ストレーナの逆洗作業での被ばくを考慮して、1月4日までの期間、使用済燃料プールの冷却を一時的に停止する運用とすることとし、当該システムを停止。なお、12/31以降、使用済燃料プール水温度を確認するため、1日1回当該システムの一次系を運転する予定。

停止時の予想プール水温度上昇:1日あたり約 5.0～6.0

【4号機】・11/29～ 使用済燃料プールの塩分除去のため、イオン交換装置の運転を開始。

## < 原子炉压力容器への注水・原子炉の状況 > (12/30 11:00 時点)

号機	注水状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約 4.4 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約 2.0 m <sup>3</sup> /h)	27.6	28.2	106.5 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約 2.0 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約 7.0 m <sup>3</sup> /h)	54.4	57.0	108 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約 3.0 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約 6.0 m <sup>3</sup> /h)	48.2	56.6	101.6 kPaabs

【1号機】・原子炉格納容器雰囲気温度について、12/22より上昇が見られた1点(C点)、その後緩やかな温度上昇が見られた2点(D点、E点)について傾向を監視中。

C点:(最高値)約 54.6 (12/28 18:00 時点) 約 47.7 (12/30 17:00 時点)

D点:(最高値)約 34.9 (12/28 21:00 時点) 約 34.3 (12/30 17:00 時点)

E点:(最高値)約 39.2 (12/29 1:00 時点) 約 38.1 (12/30 17:00 時点)

【1～2号機】・12/30 9:44 原子炉への注水量の変動が確認されたため、以下のとおり調整を実施。

1号機:給水系からの注水量を約 4.4 m<sup>3</sup>/h から約 4.5 m<sup>3</sup>/h へ、炉心スプレイ系からの注水量を約 1.8 m<sup>3</sup>/h から約 2.0 m<sup>3</sup>/h へ調整。

2号機:給水系からの注水量を約 1.8 m<sup>3</sup>/h から約 2.0 m<sup>3</sup>/h へ調整。

(炉心スプレイ系は約 7.0 m<sup>3</sup>/h で継続)

【4号機】【5号機】【6号機】・特に変化なし

## < その他 >

・10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5、6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。

以上